

法人理念		「地域社会に役立つ」を理念の基、福祉サービスを必要としている方の基本的人権を尊重し、武蔵野の街で、その人らしい暮らしができるよう支援する。			
支援方針		障害児等の健全な育成を図るとともに、障害児等の保護者の子育てをするうえでの負担を軽減することを目的とし、次のことについて支援をしていきます。 ○毎日の積み重ねの中から日常の基本動作の習得や生活能力の向上を図ること ○余暇活動である音楽や造形等の表現を通して豊かな感性を培うこと ○たくさんの人と関わることで地域の中で社会経験の幅を広げられるようにすること ○好きな遊びやリラックス方法等、個々に合わせた余暇活動を提供して心身の安定を図ること			
営業時間		学校終了時：放課後～18:00 学校休業日：9:30～17:00	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・生活や活動を通して、基本的な生活動作(食事、排泄、衣服の着脱)を身に付ける、自分の力でできる部分を増やしていけるよう支援をします。 ・排泄の定時誘導をする事で、排泄の間隔を探っていき、トイレで排泄できる回数が増えるよう支援します。 ・基礎疾患等に応じて、お子さんに応じた体調管理や医療的ケアを行います。			
	運動・感覚	・日常の歩行や階段昇降、サーキット遊びやスイングでの揺れなどを通して、運動機能や筋力の向上、バランス感覚を養っていきます。 ・製作活動や仕分け、プットインの遊びを通して、手指操作の向上を図ります。 ・散歩や外出活動を通し、身体を動かしたり普段とは違う環境で過ごしたりする事で、興味や関心を広げていきます。 また、四季の移り変わりを感じられるよう職員から言葉を掛けたり、実際に触れてみたりできるよう取り組んでいきます。			
	認知・行動	・言葉や写真(イラスト)、実物を提示し、本人にとってわかりやすさを考えながら行動を促します。本人が行動に移そうとする気持ちや姿勢を大切にしながら、行動を見守ったり、再度アプローチをかけたりしていきます。 ・生活や活動を通して、物(形、色、数)や空間、時間への働きかけを行い、認知の向上を図ります。 ・適切な行動がとれるよう、お子さんの様子をご家庭や学校と共有しながら、原因の見極めや働きかけを行います。			
	言語・コミュニケーション	・生活や活動の中で、言葉や仕草、写真(イラスト)や筆談等を用いながらお子さんに合わせてやりとりを行います。お子さんの発達に合わせて、気持ちや要求を表情や身振り、言葉などで表すことを支援します。 ・対職員だけでなく、友達や普段関わりの少ない関係者とのやり取りを通して、相手に気持ちを伝える、相手の話を聞く機会を設定していきます。			
	人間関係・社会性	・職員との関わりを基本に、人との適切な関わりや距離感を身に付ける事で、安心して過ごせるよう進めていきます。 ・職員や友達との関わりを通して、並行遊びや職員が間に入りながら遊びを共有する事で、他者への関心や対人関係の発達を支援します。 ・地域との交流や外出活動を通して、普段とは違った刺激を受ける、社会のルールやマナーを身に付けていけるよう働きかけます。			
家族支援		・放課後等デイサービスパレットでお預かりする事で、ご家族の介護負担の軽減や就労を支援します。 ・日々の連絡帳や面談などの機会でも、お子さんの成長や課題を共有すると共に、相談援助を行います。 ・保護者交流会を通して、保護者同士のやりとりの場を定期的に設けます。	移行支援	・高校卒業後のライフステージの切り替えを見据え、ご家庭や学校と情報共有をします。その後の生活や移行が、本人にとってより良いものになるよう一緒に準備に取り組みます。	
地域支援・地域連携		・同法人内の相談支援事業所と連携を取り、保育所や児童発達支援事業所等から移行してくる場合、引継ぎの場を設定している。 ・近隣の訪問看護ステーションや児童館と交流の機会を持てる場を設定している。	職員の質の向上	・外部研修(虐待防止、外傷やてんかんに対する対応、服薬に関する事、気管切開している児への対応、熱中症予防) ・法人または事業所における内部研修(情報セキュリティ研修、人権擁護防止研修、発達障害児への支援、)	
主な行事等		外出活動(長期休み時)、七夕、敬老の日、秋祭り、避難訓練(年2回)、節分			